

セラマックス#1000ALと常温亜鉛めっき塗料 防錆性能比較

無機質コーティング協会

素地 プラスト鋼板 エッジシール処理 バックシール処理	試験前	C A S S 試 験		評 価
		3日後 屋外暴露4年相当	7日後 屋外暴露10年相当	
		<p>■セラマックス#1000AL 150g/m² 膜厚75μ m</p>		
<p>■常温亜鉛めっき塗料 500g/m² 膜厚75μ m</p>				<p>塗膜 試験3日後 全面白錆発生 赤点錆も多数発生</p> <p>クロスカット部 試験3日後 赤錆発生 周囲にも赤点錆多数発生 塗膜下錆が進行しているもの と考えられる</p>

※1.比較対象品は市販の常温亜鉛めっき塗料(亜鉛末96%+1液エポキシ樹脂)です。メーカー標準塗付量です。

※2.試験方法はJIS H8502 7.3に準拠 NaCl 50g/L、CuCl₂·2H₂O 0.26/Lを酢酸にてPH3~3.2に調整する。

※3. 考察①常温亜鉛めっき塗料は層内がポーラスであるため、高濃度の亜鉛末の機能が発揮できず錆が促進されたと考える。

②常温亜鉛めっき塗料は上塗り(ウレタン、ふっ素等)工程が必要と考える。